

プログラム一覧

学会長講演62

特別講演64

教育講演1～764

シンポジウム1～4268

地方衛生研究所研修フォーラム182

奨励賞受賞講演1～5186

優秀演題賞選考会1～11188

国際参加賞受賞講演1～6194

ランチョンセミナー1～5197

スポンサーセッション202

一般演題一覧203

プログラム

学会長講演

12月21日（火） 10:05～10:40 第1会場（京王プラザホテル 5F エミネンスホール）

公衆衛生学の基盤：統計と調査

座長：山縣然太朗（山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座）
演者：小林 廉毅（東京大学大学院医学系研究科公衆衛生学）

特別講演

12月23日（木） 9:00～9:40 講演会場（東京大学伊藤国際学術研究センター B2F 伊藤謝恩ホール）

こども食堂と私たちの地域・社会

座長：近藤 克則（千葉大学予防医学センター）
演者：湯浅 誠（東京大学先端科学技術センター）

教育講演1

12月21日（火） 15:10～16:00 第1会場（京王プラザホテル 5F エミネンスホール）

リスクコミュニケーション

座長：富尾 淳（国立保健医療科学院健康危機管理研究部）
演者：吉川 肇子（慶應義塾大学商学部）

教育講演2

12月21日（火） 16:10～17:00 第1会場（京王プラザホテル 5F エミネンスホール）

公衆衛生分野におけるナッジの活用 ～ナッジの本質とテクニック～

座長：東 尚弘（国立がん研究センターがん対策研究所）
演者：福吉 潤（株式会社キャンサーズキャン）

教育講演3

12月21日（火） 17:45～18:35 第3会場（京王プラザホテル 5F コンコードボールルーム B）

最近の医療経済学の動向—日本の諸問題に貢献できるか？

座長：橋本 英樹（東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻）
演者：兪 炳匡（神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科）

教育講演4

12月21日（火） 17:45～18:35 第4会場（京王プラザホテル 5F コンコードボールルーム C）

ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）の文脈における結核の世界戦略

座長：橋爪 真弘（東京大学大学院医学系研究科国際保健学専攻）
演者：錦織 信幸（世界保健機関（WHO））

教育講演5

12月22日（水） 14:35～15:25 第2会場（京王プラザホテル 5F コンコードボールルーム A）

鉛に係る健康影響評価について—食品安全委員会報告—

座長：吉村 和久（東京都健康安全研究センター）
演者：荻田 香苗（杏林大学医学部衛生学公衆衛生学教室）

教育講演6

12月22日（水） 14:35～15:25 第3会場（京王プラザホテル 5F コンコードボールルーム B）

The Current Public Health Situation in Myanmar 2021

座長：谷川 武（順天堂大学大学院医学研究科衛生学・公衆衛生学講座）
演者：Myo Nyein Aung（Juntendo University, Advanced Research Institute for Health Sciences、Department of Global Health Research, Juntendo University Graduate School of Medicine、Faculty of International Liberal Arts, Juntendo University）

教育講演7

12月22日（水） 17:05～17:55 第1会場（京王プラザホテル 5F エミネンスホール）

部門連携による健康格差是正の取り組みの実践と評価

座長：田宮菜奈子（筑波大学医学医療系ヘルスサービスリサーチ分野）
演者：近藤 尚己（京都大学大学院医学研究科社会疫学分野）

シンポジウム1

12月21日（火） 10:50～12:20 第1会場（京王プラザホテル 5F エミネンスホール）

COVID-19の世界的な流行への検疫所における水際対応を振り返る

座長：上野 健一（厚生労働省関西空港検疫所）
奥村 二郎（近畿大学医学部環境医学・行動科学教室）

演者：海外の感染状況と水際対策での陽性例
垣本 和宏（那覇検疫所）

関西空港における入国者に対する航空機検疫の実践と課題
沖 俊佑（関西空港検疫所検疫課）

クルーズ船などの船舶に対する検疫とその今後の対応
梅田 恭子（厚生労働省横浜検疫所）

貨物船に対するこれまでの検疫及び港湾区域における検疫衛生
川崎 浩三（大阪検疫所検疫衛生課）

空港検疫における感染制御
高倉 俊二（厚生労働省労働基準局安全衛生部労働衛生課）

シンポジウム2			
12月21日（火）	10:50～12:20	第2会場（京王プラザホテル 5F コンコードボールルーム A）	

行政医師が持つべき専門性・スペシャリティを考える

座長：宮園 将哉（大阪府健康医療部）
永井 仁美（大阪府茨木保健所）

演者：国立保健医療科学院が考える行政医師が持つべきスペシャリティ
曾根 智史（国立保健医療科学院）

都道府県庁が考える行政医師が持つべきスペシャリティ
角野 文彦（滋賀県健康医療福祉部）

若手行政医師・歯科医師の専門性の獲得に関する大阪府の取り組み
田中 英夫（大阪府藤井寺保健所）

行政医師のエビデンス構築能力と研究マインド醸成手法について考える
吉田 穂波（神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーション研究科）

指定発言者：
衛生行政医師のスペシャリティ
宇田 英典（地域医療振興協会地域医療研究所）

シンポジウム3			
12月21日（火）	10:50～12:20	第3会場（京王プラザホテル 5F コンコードボールルーム B）	

成育基本法：成育基本方針の指標とロジックモデル

座長：山縣然太朗（山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座）
市川 香織（東京情報大学看護学部）

演者：成育基本法：成育基本方針の指標とロジックモデル
山本 圭子（厚生労働省子ども家庭局母子保健課）

成育基本法の推進ツールとしてのロジックモデル
後藤 あや（福島県立医科大学総合科学教育研究センター）

成育医療等基本方針の母子保健領域の指標：「健やか親子21（第2次）」より
上原 里程（京都府立医科大学地域保健医療疫学）

成育基本方針の指標 ～学校保健・思春期関連指標～
松浦 賢長（福岡県立大学）

Child Death Review（CDR）のモデル事業とその現状
竹原 健二（国立成育医療研究センター研究所政策科学研究部）

シンポジウム4			
12月21日（火）	10:50～12:20	第4会場（京王プラザホテル 5F コンコードボールルーム C）	

新型コロナウイルス感染症と環境保健

座長：島 正之（兵庫医科大学公衆衛生学）
橋爪 真弘（東京大学大学院医学系研究科国際保健学専攻国際保健政策学）

演者：Covid-19パンデミックと気候変動
橋爪 真弘（東京大学大学院医学系研究科国際保健学専攻国際保健政策学）

COVID-19に関与する環境要因
東 賢一（近畿大学・医・環境医学・行動科学）

大気汚染と COVID-19
高野 裕久（京都大学大学院地球環境学堂、京都大学大学院工学研究科都市環境工学専攻）

Covid-19の熱中症への影響
小野 雅司（国立環境研究所環境リスク・健康領域）

マイクロプラスチック環境汚染の課題
荻田 香苗（杏林大学医学部衛生学公衆衛生学教室）

シンポジウム5			
12月21日（火）	10:50～12:20	第5会場（京王プラザホテル 4F 錦）	

地域包括ケアシステムへの参画に向けた薬剤師の在宅医療体制の現状

座長：川崎 直人（近畿大学薬学部公衆衛生学、近畿大学アンチエイジングセンター）
多根井重晴（日本薬科大学実践社会薬学）

演者：外来がん薬物療法における病院と保険薬局との連携～自治医科大学附属病院では・・・～
中澤 寛仁（自治医科大学附属病院薬剤部）

地域における多職種連携と在宅医療への関わり事例～個人在宅と施設在宅の相違～
中尾 祐輝（株式会社ツルハ第二調剤運営部）

地域を見守る薬局薬剤師の役割
小黑佳代子（株式会社ファーマ・プラスプラス薬局高崎吉井店）

薬学教育における「在宅医療」および「地域包括ケアシステム」の教育の現状と今後
久保田洋子（日本薬科大学薬学部社会薬学分野）

シンポジウム6			
12月21日（火）	13:30～15:00	第1会場（京王プラザホテル 5F エミネンスホール）	

日本公衆衛生学会・日本計画行政学会 共同企画
「感染症に強い社会のための組織と制度：新型コロナ克服のための社会システム」

座長：中村 桂子（東京医科歯科大学教授・日本公衆衛生学会）
山本佳世子（東京電気通信大学教授・日本計画行政学会）

開会挨拶：磯 博康（日本公衆衛生学会理事長・大阪大学）

演者：ニューノーマルに対応したまちづくりの方向性
後藤 史一（国土交通省都市局まちづくり推進課）

感染症対策における国と地方自治体の情報連携、役割分担と権限
白井 千香（枚方市保健所長；全国保健所長会副会長兼健康危機管理委員長）

感染症危機管理における計画とリスク管理における計画行政の課題
新川 達郎（同志社大学）

ポストコロナにおける都市と交通のあり方
森本 章倫（早稲田大学理工学術院）

包括的な新型コロナウイルス感染症（COVID-19）施策・政策のフレームワーク構築へ
今中 雄一（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻医療経済学分野、日本公衆衛生学会 COVID-19施策・政策研究班）

閉会挨拶：浅見 泰司（日本計画行政学会会長・東京大学）

シンポジウム7			
12月21日（火）	13:30～14:45	第4会場（京王プラザホテル 5F コンコードボールルーム C）	

生涯を通じた切れ目ないケアへ：プレコンセプションケアを考える

座長：玉腰 暁子（北海道大学大学院医学研究院公衆衛生学教室）
荒田 尚子（国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター母性内科）

演者：プレコンセプションケア総論（プレコンセプションケアの基礎知識）
荒田 尚子（国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター母性内科）

成育基本法におけるプレコンセプションケア
山縣然太朗（山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座）

助産師・保健師に求められるプレコンセプションケア
西岡 笑子（防衛医科大学校医学教育部看護学科母性看護学講座）

日本版プレコンセプションケアの現状と課題
前田 恵理（秋田大学大学院医学系研究科衛生学・公衆衛生学講座）

シンポジウム8			
12月21日（火）	13:30～15:00	第5会場（京王プラザホテル 4F 錦）	

フィンランドのネウボラから学ぶ児童虐待予防のセーフティネット

座長：江崎 治朗（厚生労働省健康局難病対策課）
横山 美江（大阪市立大学大学院看護学研究科）

演者：フィンランドにおける子どものセーフティネット
藪長 千乃（東洋大学国際学部）

Prevention strategies on violence against children and domestic violence
Juha Holma（ユヴァスキュラ大学）

フィンランドのネウボラをモデルとした担当保健師の継続支援の実践
天野由美子（島田市保健福祉センター健康づくり課）

フィンランドのネウボラにおける虐待予防の取り組みと継続支援の効果
横山 美江（大阪市立大学大学院看護学研究科）

シンポジウム9			
12月21日（火）	14:55～16:10	第4会場（京王プラザホテル 5F コンコードボールルーム C）	

地域包括ケアシステム推進に向けた保健所・都道府県庁の役割と活動方法・成果

座長：村嶋 幸代（公立大学法人大分県立看護科学大学）
角野 文彦（滋賀県健康医療福祉部）

演者：地域包括ケアシステム構築に向けた都道府県庁・保健所保健師の役割
鎌田久美子（公益社団法人日本看護協会）

東日本大震災後、県・保健所・市町村が一体となり地域包括ケアシステムを構築した事例
本田あゆみ（福島県保健福祉部健康づくり推進課）

保険者特性から見る連携強化と地域包括ケアシステムの推進 -保健所への期待-
木下 健一（社会福祉法人恩賜財団広島県済生会坂町地域包括支援センター）

有事に活かされた平時からの地域包括ケアシステムの構築－公衆衛生医の立場から
角野 文彦（滋賀県健康医療福祉部）

シンポジウム10			
12月21日（火）	15:10～16:25	第5会場（京王プラザホテル 4F 錦）	

10年後を見据えた新しい自治体管理栄養士養成プログラムの提案

座長：由田 克士（大阪市立大学大学院生活科学研究科食・健康科学講座公衆栄養学）
澁谷いづみ（愛知県瀬戸保健所）

演者：10年後を見据えた自治体管理栄養士新任期養成プログラムの提案
諸岡 歩（兵庫県健康福祉部健康局健康増進課）

中堅期をターゲットとしたプログラム
磯部 澄枝（新潟県新津保健所）

リーダー期の管理栄養士に求められるもの
田中 和美（神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部栄養学科）

シンポジウム11
12月21日（火） 16:20～17:35 第4会場（京王プラザホテル 5F コンコードボールルーム C）

健康危機で明らかになった地域保健上の課題：一人一人の健康を守り高める公衆衛生を

座長：八谷 寛（名古屋大学大学院医学系研究科国際保健医療学・公衆衛生学）
丸山 広達（愛媛大学大学院農学研究科生命機能学専攻健康機能栄養科学特別コース地域健康栄養学分野）

演者：都道府県健康施策立案のための基礎的データ:都道府県健康栄養調査の状況
久野 一恵（西九州大学健康栄養学部健康栄養学科）

コロナ禍における健診・検診受診率低下や時期の遅れ、予防的医療に関する考察
勢井 雅子（徳島県総合健診センター）

ライフコースデータにおける母子保健や学童の健診情報由来のデータベースの構築と活用
川上 浩司（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康解析学講座薬剤疫学分野）

新型コロナ時代のインターネット調査プロジェクト JACSIS 協働研究のすゝめ
田淵 貴大（大阪国際がんセンターがん対策センター疫学統計部）

シンポジウム12
12月21日（火） 16:50～18:20 第2会場（京王プラザホテル 5F コンコードボールルーム A）

コロナ危機下のリスクコミュニケーション：自治体、保健所、病院、在宅看護の取り組み

座長：蝦名 玲子（グローバルヘルスコミュニケーションズ）
仲本 光一（岩手県県南広域振興局保健福祉環境部兼奥州・一関保健所）

演者：公衆衛生上の緊急事態におけるリスクコミュニケーションについての概念と理論
蝦名 玲子（グローバルヘルスコミュニケーションズ）

自治体と保健所におけるリスクコミュニケーションについて
仲本 光一（岩手県県南広域振興局保健福祉環境部兼奥州・一関保健所）

医療機関におけるリスクコミュニケーション
今井 寛（三重大学大学院医学系研究科救急災害医学）

コロナ危機下のリスクコミュニケーション～在宅看護での取り組み
上田 泉（札幌医科大学保健医療学部看護学科・専攻科公衆衛生看護学専攻）

シンポジウム13（市民公開シンポジウム） 日本学術会議 パブリックヘルス分科会・日本公衆衛生学会・社会医学系専門医協会合同シンポジウム
12月21日（火） 16:35～17:50 第5会場（京王プラザホテル 4F 錦）

ポストコロナ時代に求められる公衆衛生人材

座長：磯 博康（大阪大学大学院医学系研究科社会医学講座）
今中 雄一（京都大学大学院医学研究科医療経済学分野）

演者：求められる公衆衛生人材：健康危機管理を通じて
安村 誠司（福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座）

求められる公衆衛生人材：地方自治体の立場から
前田 光哉（厚生労働省新型コロナウイルス対策推進本部事務局（前・神奈川県健康医療局長））

ポストコロナ時代の多職種職場の人材育成
奥田 博子（国立保健医療科学院健康危機管理研究部）

地域が求める公衆衛生人材
尾島 俊之（浜松医科大学健康社会医学講座）

ポストコロナ時代に求められる公衆衛生人材：厚労省科学研究における調査から
和田 裕雄（順天堂大学医学部公衆衛生学教室）

特別発言：
社会医学系専門医制度とこれからの公衆衛生・社会医学人材養成
今中 雄一（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻医療経済学分野、社会医学系専門医協会理事長）

求められる公衆衛生人材：国の立場から
佐々木昌弘（厚生労働省）

看護学分野における公衆衛生人材を考える
小松 浩子（日本赤十字九州国際看護大学）

シンポジウム14
12月22日（水） 8:50～10:20 第1会場（京王プラザホテル 5F エミネンスホール）

住民主体の多様な通いの場・居場所の展開：その概念整理と PDCA サイクルに沿った評価

座長：藤原 佳典（東京都健康長寿医療センター研究所社会参加と地域保健研究チーム）
澤岡 詩野（公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団）

演者：住民主体の通いの場の概念と多様な通いの場の類型
植田 拓也（東京都健康長寿医療センター研究所東京都介護予防・フレイル予防推進支援センター）

多様な通いの場における PDCA サイクルに沿った評価の視点
清野 諭（東京都健康長寿医療センター研究所）

多世代交流・就労的活動を取り入れた共生型通いの場－実践者による PDCA サイクル－
河本 歩美（社会福祉法人京都福祉サービス協会、特定非営利活動法人地域共生開発機構ともつく）

空き家等を活用した常設型通いの場のコーディネーター支援者における PDCA サイクル－
山田 翔太（一般財団法人世田谷トラストまちづくり、東京都市大学大学院環境情報学研究科都市生活学専攻博士後期課程）

行政における多様な通いの場の支援－行政による PDCA サイクル－
岡崎 真美（豊島区保健福祉部高齢者福祉課・介護予防・認知症グループ）

シンポジウム15			
12月22日（水）	8:50～10:20	第2会場（京王プラザホテル 5F コンコードボールルーム A）	

マスギャザリングとヘルスセキュリティ：TOKYO2020の教訓

座長：齋藤 智也（国立感染症研究所感染症危機管理研究センター）
 富尾 淳（国立保健医療科学院健康危機管理研究部）

演者：マスギャザリングにおける COVID-19のインパクト
 齋藤 智也（国立感染症研究所感染症危機管理研究センター）

東京オリンピック・パラリンピックにおけるリスクアセスメントと求められる対応
 和田 耕治（国際医療福祉大学医学部公衆衛生学）

TOKYO2020における感染症サーベイランスと対応
 島田 智恵（国立感染症研究所実地疫学研究センター）

2020東京オリンピック・パラリンピック開催がペナンブラ（penumbra）に与えた影響
 森村 尚登（帝京大学医学部救急医学講座、帝京大学先端総合研究機構危機管理研究部門、2020年東京オリンピック・パラリンピックに係る救急・災害医療体制を検討する学術連合体（AC2020）合同委員会）

マスギャザリングに対する保健医療の評価・検証：After action review の実践
 富尾 淳（国立保健医療科学院健康危機管理研究部）

シンポジウム16			
12月22日（水）	8:50～10:20	第3会場（京王プラザホテル 5F コンコードボールルーム B）	

国レベルの健康関連データベース活用に向けてーわが国および海外の動向

座長：田宮菜奈子（筑波大学医学医療系ヘルスサービスリサーチ分野）

演者：データ活用：収集側の視点からの提言
 東 尚弘（国立がん研究センターがん登録センター、東京大学大学院医学系研究科がん政策科学分野）

欧州の健康関連データベースとその利用経験
 田中 宏和（三重大学大学院医学系研究科公衆衛生・産業医学分野）

英国のプライマリケアデータベースの構築と研究利用
 岩上 将夫（筑波大学医学医療系ヘルスサービスリサーチ分野）

米国における公的ヘルスデータのリンケージ
 杉山 雄大（筑波大学医学医療系ヘルスサービスリサーチ分野、筑波大学ヘルスサービス研究開発センター、国立国際医療研究センター研究所糖尿病情報センター、国立国際医療研究センター国際医療協力局グローバルヘルス政策研究センター）

医療介護データの提供に関する今後の方針
 牧戸香詠子（厚生労働省保険局医療介護連携政策課保険データ企画室）

シンポジウム17			
12月22日（水）	8:50～10:20	第4会場（京王プラザホテル 5F コンコードボールルーム C）	

モニタリングレポート委員会による賛否の分かれる公衆衛生対策に関するディベート

座長：尾崎 米厚（鳥取大学医学部環境予防医学分野）

演者：新型コロナワクチンの接種の優先順位-「若年層」を優先する対策の賛否
 横川 博英（順天堂大学医学部総合診療科学講座）
 高橋美保子（埼玉医科大学医学部社会医学）

ワクチン接種者のマスクは不要か？
 鈴木 貞夫（名古屋市立大学大学院医学研究科公衆衛生学分野）
 吉田 都美（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻薬剤疫学分野）

指定発言：
 賛否の分かれる公衆衛生課題の参加型ディベート・行政の立場からの指定発言
 坂野 晶司（江東区保健所）

シンポジウム18			
12月22日（水）	8:50～10:20	第5会場（京王プラザホテル 4F 錦）	

地域・職域連携推進事業と中小企業の健康経営

座長：津下 一代（女子栄養大学）
 仁賀 建夫（経済産業省ヘルスケア産業研究官）

演者：健康経営優良法人（中小企業部門）認定法人の取り組み～自治体と連携した健康経営～
 瀧川 信二（株式会社タック）

地域・職域連携で進める健康経営支援～“健康・予防日本一”に向けた藤枝市の取り組み
 松浦 大樹（藤枝市健康福祉部健やか推進局健康企画課）

高知県須崎福祉保健所における地域・職域連携推進協議会の取組
 前田 由佳（高知県須崎福祉保健所）

地域・職域連携協議会を円滑・効果的に進めていくために～島根県の取組～
 林 はづき（島根県健康福祉部健康推進課）

地域・職域連携推進に向けて～地域保健における課題と対策
 都筑 千景（大阪府立大学大学院看護学研究科）

シンポジウム19			
12月22日（水）	10:30～11:45	第1会場（京王プラザホテル 5F エミネンスホール）	

社会環境整備によるヘルスプロモーション活動の目標設定

座長：近藤 尚己（京都大学大学院医学研究科社会疫学分野）
 近藤 克則（千葉大学予防医学センター）

演者：ヘルスプロモーションの歴史から日本の次期健康推進計画策定の論点を考える
 相田 潤（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科健康推進歯学分野）

日本および諸外国のヘルスプロモーション施策における社会環境整備の視点
 西尾麻里沙（京都大学大学院医学研究科社会疫学分野）

自治体・企業でのデータ利用の環境整備
 三木 竜介（株式会社リンクアンドコミュニケーション、神戸市健康局健康企画課）

これからの10年の活動に向けた社会環境整備目標の項目提案
 近藤 尚己（京都大学大学院医学研究科社会疫学分野）

シンポジウム20			
12月22日（水）	10:30～11:45	第2会場（京王プラザホテル 5F コンコードボールルーム A）	

子どもの自然な遊びと運動指導 ～子育て支援における保健・保育・運動指導の協働～

座長：小島 光洋（弘前大学社会医学講座） 池田 裕恵（東洋英和女学院大学）	
演者：100歳までつながる「よい動き」を乳幼児のうちに！ 田中 恭栄（公益社団法人日本3B 体操協会）	
遊べる体づくりの根っこは赤ちゃんのハイハイから 樋口 和子（NPO 法人健康づくり推進機構 BTB）	
乳幼児期の親子じゃれつき遊びと運動遊び支援 小関 潤子（特定非営利活動法人ひろさきレクリエーション協会）	
子どもの遊びを見守る母親の眼 平賀菜津子（湯沢町子育て教育部子育て支援課）	

シンポジウム21			
12月22日（水）	10:30～11:45	第3会場（京王プラザホテル 5F コンコードボールルーム B）	

地域包括ケア時代における高齢者就労の現状と課題

座長：藤原 佳典（東京都健康長寿医療センター研究所社会参加と地域保健研究チーム） 小川 敬之（京都橋大学健康科学部作業療法学科）	
演者：地域包括ケアにおける就労的活動とは 服部 真治（一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会医療経済研究機構、東京都健康長寿医療センター研究所）	
高齢期の福祉就労がもたらす効果：介護老人保健施設全国調査の結果から 村山 洋史（東京都健康長寿医療センター研究所社会参加と地域保健研究チーム）	
無理なく安全に働ける高齢者就労の環境づくり 石橋 智昭（公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団）	
東京都北区における高齢者就労支援の取り組み 岩田 直子（東京都北区健康福祉部高齢福祉課）	

シンポジウム22			
12月22日（水）	10:30～11:45	第4会場（京王プラザホテル 5F コンコードボールルーム C）	

健康危機管理とは？首都直下型地震対策を考える

座長：安村 誠司（福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座） 奥田 博子（国立保健医療科学院健康危機管理研究部）	
演者：健康危機管理の本質 ―その潮流と展望― 高鳥毛敏雄（関西大学社会安全学部・社会安全研究科）	
災害対策とパンデミック、感染症 齋藤 智也（国立感染症研究所感染症危機管理研究センター）	
保健所の健康危機管理機能の課題と展望 前田 秀雄（東京都北区保健所）	
災害看護学の視点からの災害への備えと対応 宮崎美砂子（千葉大学大学院看護学研究院地域創成看護学講座）	

シンポジウム23			
12月22日（水）	10:30～11:45	第5会場（京王プラザホテル 4F 錦）	

大規模災害時の栄養・食生活支援活動の連携体制と人材育成～自治体への波及のヒント～

座長：久保 彰子（女子栄養大学栄養学部） 澁谷いづみ（愛知県瀬戸保健所）	
演者：大規模災害時の栄養・食生活支援に係る栄養施策について 齋藤 陽子（厚生労働省健康局健康課栄養指導室）	
岐阜県における災害時栄養・食支援体制整備 三宅 志保（岐阜県保健医療課）	
中核市保健所による広域的なケースメソッドの活用について 相本 優美（鳥取市役所健康こども部鳥取市保健所）	
佐賀県版アクションカードの作成と今後の活用について 村武 悦子（佐賀県健康福祉部健康増進課、佐賀県佐賀中部保健所） 中里 栄介（佐賀県佐賀中部保健所）	

シンポジウム24（メインシンポジウム）			
12月22日（水）	12:55～15:55	第1会場（京王プラザホテル 5F エミネンスホール）	

新型コロナ対策1 「新型コロナウイルス感染症感染の実像と対策」

座長：中島 一敏（大東文化大学） 前田 秀雄（東京都北区保健所）	
演者：分析疫学の立場から 押谷 仁（東北大学大学院医学系研究科微生物学分野）	
新型コロナゲノム・サーベイランスから示唆される公衆衛生対策への利活用 黒田 誠（国立感染症研究所・病原体ゲノム解析研究センター）	
理論疫学の立場から 西浦 博（京都大学大学院医学研究科）	

新型コロナ対策2 「新型コロナと持続可能な社会の構築」

座長：高鳥毛敏雄（関西大学社会安全学部・社会安全研究科） 白井 千香（枚方市健康福祉部）	
演者：コロナショックと日本経済 小峰 隆夫（大正大学地域構想研究所）	
COVID-19対策のリスクコミュニケーション 武藤 香織（東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター公共政策研究分野）	
自治体と住民～分断を超えたポストコロナに向けて～ 白井 千香（枚方市保健所）	

シンポジウム25			
12月22日（水）	12:55～14:25	第2会場（京王プラザホテル 5F コンコードボールルーム A）	

分野を超えた幅広い明日の公衆衛生を考える

座長：小橋 元（獨協医科大学医学部公衆衛生学講座）
田宮菜奈子（筑波大学医学医療系ヘルスサービスリサーチ分野）

演者：次代の公衆衛生に求められる「超職種連携」
小橋 元（獨協医科大学医学部公衆衛生学講座）

親支援，幼児教育からの「公衆衛生」
姫田 知子（四国大学短期大学部幼児教育保育科）

保健科教育と公衆衛生への想い
山合 洋人（筑波大学附属駒場中・高等学校）

思い立ったら「公衆衛生」
齋藤 宏子（帝京大学大学院公衆衛生学研究科、大妻女子大学）

技術者からの「公衆衛生」
内山 浩志（獨協医科大学研究連携・支援センター研究戦略部門、獨協医科大学医学部公衆衛生学講座）

指定発言：
IFMSA-Japan での取り組みと公衆衛生への思い
永井 佐和（IFMSA-Japan、札幌医科大学医学部医学科）

シンポジウム26			
12月22日（水）	12:55～14:25	第3会場（京王プラザホテル 5F コンコードボールルーム B）	

新型コロナウイルス感染症によるがん診療及びがん検診の受診状況の変化

座長：高橋 宏和（国立がん研究センターがん対策研究所検診研究部）
土岐祐一郎（大阪大学医学部附属病院消化器外科）

演者：新型コロナウイルス感染症によるがん検診への影響
町井 涼子（国立がん研究センターがん対策研究所）

院内がん登録からみた COVID-19流行時のがん診療への影響
奥山 絢子（国立がん研究センターがん対策情報センターがん登録センター院内がん登録分析室）

JMDC データを用いた新型コロナウイルスのがん診療への影響に関する検討
後藤 温（横浜市立大学大学院データサイエンス研究科ヘルスデータサイエンス専攻）

COVID-19パンデミック下でのがん専門病院におけるがん患者の受療行動の変化
佐藤 靖祥（がん研究会有明病院総合腫瘍科／先端医療開発センター）

シンポジウム27			
12月22日（水）	12:55～14:10	第4会場（京王プラザホテル 5F コンコードボールルーム C）	

ウィズコロナ社会のメンタルヘルスの課題と対策

座長：野村 恭子（秋田大学医学部衛生学・公衆衛生学講座）
堤 明純（北里大学医学部公衆衛生学講座）

演者：新型コロナウイルス感染症流行下におけるキャンパスメンタルヘルス対策の実践
野村 恭子（秋田大学医学部衛生学公衆衛生学講座）

妊産婦への経済的、社会的政策介入の必要性
松島みどり（筑波大学人文社会系）

コロナ禍の労働者のメンタルヘルス不調とそのリスク要因-労働者コホート調査から
佐々木那津（東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野）

コロナ禍における医療従事者のトラウマ：とくにクラスター発生時のケアについて
前田 正治（福島県立医科大学医学部災害こころの医学講座）

シンポジウム28			
12月22日（水）	12:55～14:10	第5会場（京王プラザホテル 4F 錦）	

地域包括ケアと災害保健医療福祉対策：多職種連携は他職種の活動や役割を知ることから

座長：松本 良二（千葉県夷隅保健所）
武見ゆかり（女子栄養大学）

演者：大規模災害における医薬品供給体制と薬剤師の災害支援活動について
丹野 佳郎（東北大学大学院医学系研究科医科学専攻総合医療学災害保健医療）

避難所における歯科支援の重要性：もっと歯科を活用する体制を
中久木康一（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科救急災害医学分野、東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科災害・クリティカルケア看護学分野、東京都保健医療公社大久保病院歯科口腔外科）

災害精神保健医療福祉領域のよりよい協働のための方策
高橋 晶（筑波大学医学医療系災害・地域精神医学、茨城県立こころの医療センター、筑波メディカルセンター精神科）

大規模災害時の栄養・食生活支援活動：食べることは生きること、最重要課題だ！
渡邊 瑞穂（山梨県峡南保健福祉事務所（峡南保健所））

シンポジウム29			
12月22日（水）	14:20～15:35	第4会場（京王プラザホテル 5F コンコードボールルーム C）	

今度こそ、ワクチンと真剣に向き合う

座長：稲葉 静代（岐阜県岐阜保健所）
伊東 則彦（北海道江差保健所、道立江差高等看護学院）

演者：我が国のワクチン施策 ～歴史と課題～
岡部 信彦（川崎市健康安全研究所）

コロナ禍で起きたワクチン開発研究の破壊的イノベーション
石井 健（東京大学医科学研究所ワクチン科学分野、医薬基盤健康栄養研究所ワクチンアジュバント研究センターモックアップワクチンプロジェクト）

新型コロナウイルス感染症ワクチンに対する接種意図と心理的要因の関連
原田 隆之（筑波大学人間系、東京大学大学院教育学研究科）

シンポジウム30
12月22日（水） 14:20～15:35 第5会場（京王プラザホテル 4F 錦）

地域共生社会で活躍する対人支援職種の育成ー共通基礎課程をめぐるチャレンジー

座長：川越 雅弘（埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科）
田口 孝行（埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科）

演者：いまなぜ共通基礎課程かー背景とねらい
和田 幸典（厚生労働省）

変化を求められる対人支援専門職教育ー諸外国の動向から
堀田 聡子（慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科）

共通基礎課程のモデルカリキュラムの提案
大西 弘高（東京大学医学系研究科医学教育国際研究センター医学教育国際協力学）

彩の国連携力育成プロジェクトにおける連携力育成の取組
柴崎 智美（埼玉医科大学医学部医学教育学）

シンポジウム31
12月22日（水） 15:35～17:05 第2会場（京王プラザホテル 5F コンコードボールルーム A）

子どもたちの人生を豊かに育むための地域連携ー家庭・児童養護施設・学校・地域・行政ー

座長：児玉 知子（国立保健医療科学院）
廣末 ゆか（住民とともに活動する保健師の会高知県中芸広域連合）

演者：性教育から「人生を豊かに育むための教育」への発展と連携
渡會 睦子（東京医療保健大学医療保健学部、住民とともに活動する保健師の会）

人生を豊かに育むためにー～地域で取り組む「生きる力を育む生（性）教育」～
西岡 律（高知県中芸広域連合保健福祉課）

紙芝居で伝える「生きるための心を伝える教育」の効果
會田 健司（児童養護施設山形学園）

望まない妊娠や虐待予防につなぐ保健・学校行政協働型ー生きるための力の教育推進
前田日登美（北栄町役場教育総務課子育て世代包括支援センター）

シンポジウム32
12月22日（水） 15:35～17:05 第3会場（京王プラザホテル 5F コンコードボールルーム B）

地域包括ケアと災害保健医療福祉対策：要配慮者支援 No One Left Behind

座長：松本 良二（千葉県夷隅保健所）
赤井由紀子（東北福祉大学健康科学部保健看護学科）

演者：地域包括ケアと災害保健医療福祉対策の原点「地域で話し合う重要性」（誌上発表のみ）
松本 良二（千葉県夷隅保健所）

障害福祉分野での「潜在的要支援者」へのアプローチ：災害対応の視点から
日詰 正文（国立重度知的障害者総合施設のぞみの園総務企画局研究部）

精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に向けて
災害対応の視点も加えたー考察
朝比奈ミカ（千葉県中核地域生活支援センターがじゅまる）

災害時要配慮者の二次被害防止へー保健医療福祉の分野横断的支援体制整備の必要性
桑原 英文（コミュニティ・エンパワメント・オフィス FEEL Do、一般社団法人コミュニティ・4・チルドレン）

地域防災訓練への障害者の参加試行
北村 弥生（長野保健医療大学、前国立障害者リハビリテーションセンター研究所）

シンポジウム33
12月22日（水） 15:45～17:00 第4会場（京王プラザホテル 5F コンコードボールルーム C）

障がい論ー共に生きる社会の構築ー

座長：岩室 紳也（ヘルスプロモーション推進センター（オフィスいわむろ））

演者：尊厳なきバリアフリー
川内 美彦（東洋大学人間科学総合研究所）

障害児者に対する歯科検診および口腔衛生
田野 ルミ（国立保健医療科学院）

共に生き、共に成長する社会の構築
丸谷 美紀（国立保健医療科学院）

シンポジウム34
12月22日（水） 15:45～17:00 第5会場（京王プラザホテル 4F 錦）

ウィズ・コロナ時代の歯科口腔保健活動

座長：三浦 宏子（北海道医療大学歯学部保健衛生学分野）
尾崎 哲則（日本大学歯学部医療人間科学分野）

演者：地域歯科保健事業に対する新型コロナウイルス感染症拡大の影響
福田 英輝（国立保健医療科学院）

コロナ禍における母子歯科保健活動
堀江 博（奈良県福祉医療部医療政策局健康推進課）

「学校の新しい生活様式」と歯科保健
柘植 紳平（公益社団法人日本学校歯科医会）

コロナ禍における要支援者への歯科保健活動
秋野 憲一（札幌市保健福祉局）

シンポジウム35			
12月22日（水）	17:15～18:45	第2会場（京王プラザホテル 5F コンコードボールルーム A）	

コロナ禍でみえた外国人対応の課題

座長：沢田 貴志（港町診療所）
井上まり子（帝京大学大学院公衆衛生学研究科）

演者：保健行政窓口における外国人対応
矢野 亮佑（盛岡市保健所）

コロナ下での在住外国人に関する保健師対応の事例
堀田 美香（佐賀県多久市役所健康増進課）

都内における外国人支援 NPO と保健所との連携について
新居みどり（NPO 法人国際活動市民中心（CINGA））

言葉の壁をなくすために欠かせない医療通訳の活動
森田 直美（一般社団法人全国医療通訳者協会、東京大学大学院医学系研究科社会医学専攻博士課程）

シンポジウム36			
12月22日（水）	17:15～18:45	第3会場（京王プラザホテル 5F コンコードボールルーム B）	

睡眠と健康2021

座長：谷川 武（順天堂大学大学院医学研究科公衆衛生学）
兼板 佳孝（日本大学医学部社会医学系公衆衛生学分野）

演者：不眠と健康～睡眠増進のための社会変容～
大塚雄一郎（日本大学医学部社会医学系公衆衛生学分野）

睡眠格差－社会格差と睡眠との関係－
野田 愛（順天堂大学国際教養学部）

睡眠と生活習慣病
村木 功（大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生学教室）

交代勤務と睡眠
高橋 正也（労働安全衛生総合研究所過労死等防止調査研究センター）

労働者の睡眠と健康
中田 光紀（国際医療福祉大学大学院医学研究科公衆衛生学専攻）

シンポジウム37			
12月22日（水）	17:15～18:30	第4会場（京王プラザホテル 5F コンコードボールルーム C）	

保健医療の経済評価とその応用 -その施策はコストに見合うのか？- 【国立保健医療科学院企画】

座長：曾根 智史（国立保健医療科学院）
福田 敬（国立保健医療科学院）

演者：検診の経済評価とその応用
此村 恵子（国立保健医療科学院保健医療経済評価研究センター）

ワクチン接種の経済評価とその応用
池田 俊也（国際医療福祉大学医学部公衆衛生学）

医薬品・医療機器の経済評価とその応用
白岩 健（国立保健医療科学院保健医療経済評価研究センター）

地方行政における経済評価の活用
新藤 健（八王子市医療保険部成人健診課）

シンポジウム38			
12月22日（水）	17:15～18:30	第5会場（京王プラザホテル 4F 錦）	

「健康寿命をのばそう！アワード」受賞者に学ぶ、効果的な健康づくりの展開

座長：辻 一郎（東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野）
武見ゆかり（女子栄養大学栄養学部）

演者：健康寿命をのばそう！アワード（生活習慣病予防分野）が目指すこと
佐々木孝治（厚生労働省健康局）

行動経済学とエコシステムによる健康増進型保険“Vitality”～Well-being 社会へ～
西野 貴智（住友生命保険相互会社）

パ・リーグ6球団公式アプリ「パ・リーグウォーク」 毎日の歩数でチームを応援！
鎌田 真光（東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻健康教育・社会学分野）

「自分の健康は自分でつくる」須坂市保健補導員の健康づくり活動
中村 英基（長野県須坂市健康福祉部健康づくり課）

シンポジウム39			
12月23日（木）	9:50～11:20	講演会場（東京大学伊藤国際学術研究センター B2F 伊藤謝恩ホール）	

エコチル調査10年 公衆衛生への寄与

座長：上島 通浩（名古屋市立大学大学院医学研究科環境労働衛生学分野）
山崎 新（国立環境研究所エコチル調査コアセンター）

演者：子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）の今後の展開について
田中 桜（環境省環境保健部環境安全課環境リスク評価室）

エコチル調査の10年
上島 通浩（名古屋市立大学大学院医学研究科環境労働衛生学分野、国立環境研究所）

世界の中のエコチル調査
中山 祥嗣（国立環境研究所環境リスク・健康領域エコチル調査コアセンター）

エコチル調査の環境科学における意義
島 正之（兵庫医科大学公衆衛生学）

シンポジウム40（市民公開シンポジウム）			
12月23日（木）	11:30～13:00	講演会場（東京大学伊藤国際学術研究センター B2F 伊藤謝恩ホール）	

タバコ対策 Q&A 屋内禁煙・新型コロナ・タバコ値上げのインパクト

座長：田淵 貴大（大阪国際がんセンターがん対策センター疫学統計部）
五十嵐彩夏（東北大学大学院歯学研究科）

演者：日本のタバコ対策はガラパゴスか？
片野田耕太（国立がん研究センター）

日本医師会におけるタバコ対策
羽鳥 裕（日本医師会）

禁煙支援におけるナースのお仕事
谷口 千枝（愛知医科大学看護学部）

より多くの人に禁煙支援を届けるには？：実装科学の視点から
島津 太一（国立がん研究センターがん対策研究所行動科学研究部）

禁煙治療はとってもお得！
五十嵐 中（横浜市立大学医学群健康社会医学ユニット、東京大学大学院薬学系研究科医薬政策学）

シンポジウム41（市民公開シンポジウム）				
12月23日（木）	13:10～14:40	講演会場（東京大学伊藤国際学術研究センター	B2F	伊藤謝恩ホール）

人生100年時代のためのフレイル予防

座長：石崎 達郎（東京都健康長寿医療センター研究所）
飯島 勝矢（東京大学高齢社会総合研究機構・未来ビジョン研究センター）

演者：フレイルの概念 ～自分自身と地域をどう見直すのか～
飯島 勝矢（東京大学高齢社会総合研究機構・未来ビジョン研究センター）

フレイル予防～低栄養予防のコツは、楽しく食べてつながること～
田中 和美（神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部栄養学科）

フレイル予防－体力の視点から－
牧迫飛雄馬（鹿児島大学医学部保健学科理学療法学専攻基礎理学療法学講座）

フレイル予防における社会参加の重要性
村山 洋史（東京都健康長寿医療センター研究所社会参加と地域保健研究チーム）

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施
宇野 薫（厚生労働省保険局高齢者医療課、国民健康保険課、医療介護連携課医療費適正化対策推進室）

シンポジウム42（市民公開シンポジウム） 日本学術会議 環境学委員会・健康・生活科学委員会合同環境リスク分科会、 同 健康・生活科学委員会・基礎医学委員会合同パブリックヘルス科学分科会 公開シンポジウム				
12月23日（木）	14:50～16:20	講演会場（東京大学伊藤国際学術研究センター	B2F	伊藤謝恩ホール）

プラスチックのガバナンス：感染症制御のための衛生環境管理と資源循環

座長：中村 桂子（東京医科歯科大学国際保健医療事業開発学分野）
大塚 直（早稲田大学法学部）

開会挨拶：那須 民江（名古屋大学・中部大学）

演者：新興感染症パンデミック時の保健医療と環境衛生管理のかかわりと今後の課題
浅見 真理（国立保健医療科学院生活環境研究部）

感染症パンデミック制御とプラスチック資源循環のガバナンス
石川 雅紀（叡啓大学、神戸大学名誉教授）

廃棄物処理におけるプラスチックごみの取り扱いについて
山田 正人（国立研究開発法人国立環境研究所）

海洋プラスチック・マイクロプラスチックの減量化に対する環境省の取り組みについて
中島 慶次（環境省水・大気環境局水環境課海洋プラスチック汚染対策室）

大気中マイクロプラスチックの実態解明と健康影響
大河内 博（早稲田大学）

開会挨拶：石塚真由美（北海道大学）

地方衛生研究所研修フォーラム				
12月21日（火）	13:30～15:00	第2会場（京王プラザホテル	5F	コンコードボールルーム A）

COVID-19パンデミックへの対応と保健行政の課題

座長：四宮 博人（愛媛県立衛生環境研究所）
吉村 和久（東京都健康安全研究センター）

演者：新型コロナウイルス感染症危機対応における地方衛生研究所の役割と機能強化について
調 恒明（山口県環境保健センター）

神戸市における SARS-CoV-2変異株の検査体制と検出状況
野本 竜平（神戸市健康科学研究所感染症部）

保健所活動の科学的技術的基盤としての地方衛生研究所
前田 秀雄（東京都北区保健所）

COVID-19の流行とわが国の対策
脇田 隆字（国立感染症研究所）

COVID-19と地方衛生研究所のあり方について
鷲見 学（厚生労働省健康局健康課）

奨励賞受賞講演				
12月21日（火）	17:10～18:35	第1会場（京王プラザホテル	5F	エミネンスホール）

座長：小林 廉毅（東京大学大学院医学系研究科公衆衛生学）

演者：医療政策研究と一般向け疾患情報提供を通じて将来の公衆衛生の在り方を考える
杉山 雄大（国立国際医療研究センター研究所糖尿病情報センター、国立国際医療研究センター国際医療協力局グローバルヘルス政策研究センター、筑波大学医学医療系ヘルスサービスリサーチ分野）

地域における介護予防・フレイル予防に関する疫学研究とその実践的応用
清野 諭（東京都健康長寿医療センター研究所）

コロナ禍における公衆衛生医師の確保と育成に関する調査と実践活動の発展
武智 浩之（群馬県利根沼田保健福祉事務所、吾妻保健福祉事務所）

疫学と政策を通じた公衆衛生活動
野田 博之（内閣官房企画官、大阪大学大学院医学系研究科）

化学物質のアディポカインへの影響、子どもの発育・発達との関連：北海道スタディ
湊屋 街子（北海道大学環境健康科学研究教育センター）

優秀演題賞選考会			
12月21日（火）	13:30～16:10	第3会場（京王プラザホテル 5F コンコードボールルーム B）	

座長：谷川 武（順天堂大学大学院医学研究科衛生学・公衆衛生学講座）
高鳥毛敏雄（関西大学社会安全学部・社会安全研究科）

演者：大量機会飲酒を考慮した飲酒と脳卒中の関連（CIRCS）
高田 碧（大阪がん循環器循環器病予防センター循環器病予防部門、大阪大学医学系研究科公衆衛生学教室）

改正健康増進法施行前後における飲食店の受動喫煙対策と感染症対策の実態把握
片岡 葵（大阪医科薬科大学研究支援センター医療統計室、東京医科大学公衆衛生学分野）

胎児期の有機フッ素化合物ばく露と臍帯血中アディポサイトカイン濃度の関係の検討
湊屋 街子（北海道大学環境健康科学研究教育センター）

新型コロナウイルス感染症の積極的疫学調査における接触者開示に関する市民の考え
町田 征己（東京医科大学公衆衛生学分野、東京医科大学病院感染制御部）

高齢期の心血管リスクレベルと要介護認定および死亡との関連：NCGG-SGS 研究
牧野圭太郎（国立長寿医療研究センター老年学・社会科学研究センター、日本学術振興会）

月経困難症に対する低用量ピル処方開始後の、労働生産性低下や日常活動障害の変化
池田裕美枝（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康情報学分野）

特定健診受診率は勧奨方法の違いに影響されるのか？横浜市国民健康保険での検証
嶋田誠太朗（横浜市役所、横浜市行動デザインチーム（YBiT））

AHRR 遺伝子の DNA メチル化率と死亡リスクとの関連を調査した縦断研究 -Yakumo study-
坪井 良樹（藤田医科大学医療科学部予防医科学分野）

がん検診に対する選好の潜在クラス
田口 良子（鎌倉女子大学家政学部管理栄養学科、順天堂大学医学部乳腺腫瘍学講座）

横浜市における採水頻度を増やした下水中の新型コロナウイルス調査
小澤 広規（横浜市衛生研究所）

介護老人保健施設における尿路感染症に対する抗菌薬使用の実態調査
中山 慶一（筑波大学大学院人間総合科学研究群）

国際参加賞受賞講演 International Participant Award			
12月21日（火）	16:20～17:35	第3会場（京王プラザホテル 5F コンコードボールルーム B）	

座長：Nakamura Keiko（Tokyo Medical and Dental University）
Sekiyama Makiko（National Institute for Environmental Studies）
Sone Tomofumi（National Institute of Public Health）
Takemi Yukari（Kagawa Nutrition University）
Umeda Maki（University of Hyogo）

演者：Increased knowledge on NCDs among Afghan teachers by a training intervention
Alemi Sharifullah（Tokyo Medical and Dental University）

A socio-ecological model for adolescents obesity in Zimbabwe: Systematic review.
Pencil Ashleigh（Osaka City University）

City-specific modifiers of acute PM2.5 and ozone effects on ambulance dispatches
Liang Yuwen（Graduate School of Engineering, Kyoto University）

Traditional male circumcision and HIV status among Tanzanian sexually active men
Bendera Anderson（Tokyo Medical and Dental University）

Inequity in water, sanitation, and hygiene in healthcare facilities in Tanzania
Meshi Eugene（Tokyo Medical and Dental University）

Face mask use under the COVID-19 pandemic for farmers in Punjab, India
Yang Zhesi（Graduate School of Global Environmental Studies, Kyoto University）

ランチョンセミナー1			
12月21日（火）	12:30～13:20	第2会場（京王プラザホテル 5F コンコードボールルーム A）	

コンピュータとの対話でどこまで正確に患者情報を把握できるか？

座長：杉野 智啓（株式会社トウキョウアナリティカ）
演者：吉川 厚（立教大学大学院人工知能科学研究科）
佐藤 元己（立教大学大学院人工知能科学研究科、株式会社トウキョウアナリティカ）
共催：株式会社トウキョウアナリティカ

ランチョンセミナー2			
12月21日（火）	12:30～13:20	第3会場（京王プラザホテル 5F コンコードボールルーム B）	

診療ガイドラインと公衆衛生 -Minds の取り組み-

演者：Minds の取り組みと今後の展望：信頼できる医療情報を現場へ届ける
福岡 敏雄（公益財団法人日本医療機能評価機構、公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院副院長）
公衆衛生学領域における診療ガイドラインの作成
佐藤 康仁（公益財団法人日本医療機能評価機構、静岡社会健康医学大学院大学社会健康医学研究科准教授）
共催：公益財団法人日本医療機能評価機構

ランチョンセミナー3			
12月21日（火）	12:30～13:20	第4会場（京王プラザホテル 5F コンコードボールルーム C）	

地域医療と公衆衛生の協働 – 地域医療振興協会の活動 –

座長：宇田 英典（公益社団法人地域医療振興協会地域医療研究所シニアアドバイザー）

演者：地域医療と公衆衛生の協働を目指したヘルスプロモーション活動
中村 正和（公益社団法人地域医療振興協会地域医療研究所ヘルスプロモーション研究センターセンター長）
地域ヘルスプロモーション病院としての取組
梅屋 崇（公益社団法人地域医療振興協会あま市民病院管理者兼病院長）
共催：公益社団法人地域医療振興協会

ランチョンセミナー4			
12月22日（水）	11:55～12:45	第1会場（京王プラザホテル 5F エミネンスホール）	

日本発の心血管指標 API，AVI ～新たな医療技術開発と未病改善の戦略～

座長：富山 博史（東京医科大学病院循環器内科教授）

演者：神奈川県の「未病」政策
 首藤 健治（神奈川県副知事）
 AVI と認知機能の関連：多施設横断および追跡研究
 岡本 将輝（東京大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野、Massachusetts General Hospital、株式会社トウキョウアナリティカ）
 カフオシロメトリック法による、新規血管指標（API・AVI）を健康長寿の実現に活用する
 石上 友章（公立大学法人横浜市立大学医学部循環器・腎臓・高血圧内科学）
 共催：株式会社志成データム・亜洲光学股份有限公司

ランチョンセミナー5			
12月22日（水）	11:55～12:45	第2会場（京王プラザホテル 5F コンコードボールルーム A）	

Vaccine Hesitancy の考え方と対応 ～ワクチン接種を躊躇する人々～

座長：岡田 賢司（福岡看護大学基礎・基礎看護部門）
 演者：種市 尋宙（富山大学学術研究部医学系小児科学）
 共催：一般社団法人日本ワクチン産業協会

スポンサードセッション			
12月22日（水）	16:05～16:55	第1会場（京王プラザホテル 5F エミネンスホール）	

健常日本人における生活習慣と腸内細菌叢との関係

座長：山縣然太朗（山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座）
 演者：宮地 元彦（早稲田大学スポーツ科学学術院、医薬基盤・健康・栄養研究所身体活動研究部）
 共催：株式会社はくばく